

2026年2月25日
公益財団法人 白鶴美術館

2026年白鶴美術館春季展のお知らせ

平素は、当館活動についてご理解ご協力を賜り感謝申し上げます。

この度、当館2026年春季展についてお知らせさせていただきます。

当館は昭和6(1931)年に白鶴酒造七代嘉納治兵衛(1862-1951)の寄贈品五百点をもとに設立され、同9(1934)年5月に開館致しました。以来、東洋古美術の優品を収蔵する美術館として、春・秋二回の展示を軸に活動を続けております。

今回の展示では主な所蔵品である中国美術工芸および日本の書画のなかから、動物が表現された美術品を展示いたします。

今から3000年以上前の殷・西周時代の青銅器には、様々な動物を組み合わせた幻獣が描かれています。その後の美術にも神獣・幻獣たちが生まれますが、唐時代に入るとより現実の動物たちに近い姿で描かれるようになります。当館の銀器はそうした描写に富んだ作品です。

本展では古代の幻獣や神獣、身近な動物たちなど、人びとが表してきた動物たちの造形を描かれた背景や目的とともにとらえてみたいと思います。

新館では中東絨毯に描かれた動物たちを紹介します。併せてご鑑賞ください。

■展覧会名 「生きもの活き！活き！ —美術でめぐる白鶴動物ワンダーランド」(本館) 「中東絨毯の動物文様」(新館)

- 会場 白鶴美術館 神戸市東灘区住吉山手 6-1-1 TEL/FAX:078-851-6001
- 日時 3月3日(火)~6月7日(日) 午前10時~午後4時30分(入館午後4時まで)
- 入館料 大人800円 大学・高校生 500円 中学・小学生 250円
(割引 上記各団体20名以上2割引 65歳以上500円)

- ・取材をご希望の場合は、本展示開始3月3日以降のご連絡 TEL(078-851-6001) をお願い申し上げます。
- ・当館概要につきましては、公式サイト <https://www.hakutsuru-museum.org/about/> もご覧ください。

<お問い合わせ>

〒658-0063 神戸市東灘区住吉山手 6-1-1

TEL/FAX 078-851-6001

(公財)白鶴美術館 担当 学芸課 海原・吉本

展覧会基本情報：

- 展覧会名 白鶴美術館春季展
「生きもの活き！活き！ —美術でめぐる白鶴動物ワンダーランド」(本館)
「中東絨毯の動物文様」(新館)

- 会場 白鶴美術館 神戸市東灘区住吉山手 6-1-1
■日時 3月3日(土)~6月7日(日)
月曜休館
(但し、5月4日(月・祝)は開館、5月7日(木)を休館
午前10時~午後4時30分(入館午後4時まで)
■入館料 大人800円 大学・高校生500円
中学・小学生250円
(割引 上記各団体20名以上2割引 65歳以上500円)



白鶴美術館(本館展示室外観)

展示概要：

今回の展示では所蔵作品より動物が表現された美術品を展示いたします。

殷・西周時代の青銅器には、眼力鋭い獣面や横向きの鳥などがよく表されます。それは特定の動物というよりも様々な動物を組み合わせた幻獣として描かれたものです。その後の美術にも、奇怪な動物たちや雲気をまとう神獣・幻獣たちが生みだされましたが、唐時代に入ると幻獣たちも現実の動物に近い姿のものが増えるようです。当館の銀器はそうした動物描写に富んだ作品となっています。

中国美術に表される辟邪(へきじゃ：魔除けとなる霊獣)・天文・吉祥など、なんらかの意味をもつことが多い幻獣たち一。本展では古代の幻獣や神獣から身近な動物など、人びとが表してきた動物たちの造形を描かれた目的や意味とともにとらえてみたいと思います。

新館では中東絨毯に描かれた動物たちを紹介します。

展示作品例：



展示品例

<本館>

左：「鳥形卣」西周時代

右上：重要文化財「鍍金狩獵文六花形銀杯」
唐時代

右下：「五彩魚藻文壺」明時代

<新館>

下：セムナーン/テヘラーン ペルシア北部
20世紀初期



イベント:

文化財講座〈講演会〉

日 時：5月3日（日）午後2時～3時
テーマ：「文化財の修理 ―白鶴美術館作品を中心に―」
講 師： 箭上文化財修復 代表 田川 新一朗 氏

中国古代文化の動物を知る〈講演会〉

日 時：5月24日（日）午後2時～3時30分
テーマ：「東アジア・神獣探訪」
講 師：二松学舎大学文学部教授 松浦 史子 氏

中東文化の動物を知る〈講演会〉

日 時：6月7日（日）午後2時～3時30分
テーマ：「中東絨毯の動物たち」
講 師：龍谷大学国際学部准教授 林 則仁 氏

〈ワークショップ〉

日 時：4月26日（日）、5月6日（祝・水）、10日（日）
午後1時30～3時30分
テーマ：「羊の毛と糸のワークショップ」
指導員：甲南大学学生

〈アート・トーク〉

日 時：6月6日（土）午後1時～2時30分
テーマ：「美術のなかの動物」
講 師：当館学芸員

〈スライド解説〉

日 時：3月7日、4月4日・5月2日の各土曜日 午後1時～2時
テーマ：「展示のみどころ」
講 師：当館学芸員

<お問い合わせ>

〒658-0063 神戸市東灘区住吉山手 6-1-1

TEL/FAX 078-851-6001

(公財)白鶴美術館 担当 学芸課 海原・吉本
公式サイト

<https://www.hakutsuru-museum.org>

白鶴美術館 春季展

生きものの活き!

美術でめぐる白鶴動物ワンダーランド

新館

中東絨毯の
動物文



2026年
3月3日(火) → 6月7日(日)

休館日 毎週月曜日 (5月4日は開館、7日木曜休館) 開館時間 午前10時～午後4時30分 (入館は午後4時まで)

入館料 大人 800円 / 大学・高校生 500円 / 中学・小学生 250円 ※上記各団体20名以上2割引、65歳以上500円





五彩魚藻文壺
明時代



重要文化財
鍍金狩猟文六花形銀杯
唐時代



鍍金獸形隅金具
戦国時代



鳥形卣
西周時代

白鶴美術館
春季展

生きもの 活き!

美術でめぐる白鶴動物ワンダーランド

新館

中東絨毯の 動物文



セムナーン/テヘラーン
ペルシア北部 20世紀初期

今回の展示では主な所蔵品である中国美術工芸および日本の書画のなかから、動物が表現された美術品を展示いたします。

今から3000年以上前の殷・西周時代の青銅器には、眼力鋭い獣面や横向きの鳥などがよく表されます。それは特定の動物というよりも様々な動物を組み合わせた幻獣として描かれたものです。その後の美術にも、うねうねとした身体をもつ奇怪な動物たちや雲気をまとった神獣・幻獣たちの世界は思想とともに立ち現れるのです。唐時代に入るとそうした動物たちとともに、活き活きとした姿で描かれた現実の動物たちも中国美術を彩るようになります。当館の銀器はそうした描写に富んだ作品です。

辟邪・天文・吉祥など、なんらかの意味を持つことの多い中国美術の動物たち。本展では古代の幻獣や神獣、身近な動物たちなど、人びとが表してきた動物たちの造形を、描かれた背景や目的にも注目してみたいと思います。

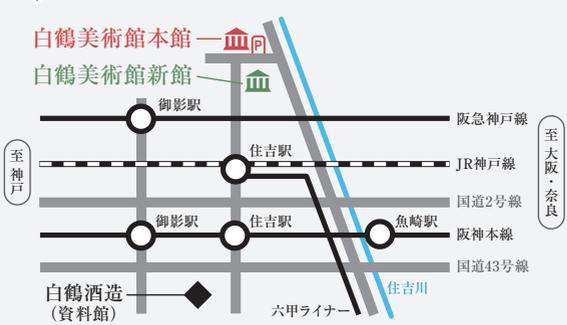
新館では中東絨毯に描かれた動物たちを紹介します。併せてご鑑賞ください。

Event イベント情報

- | | |
|---|---|
| <p>文化財講座 <講演会>
定員：40名</p> <p>テーマ：「文化財の修理—白鶴美術館作品を中心に—」
日時：5月3日(日) 午後2時～3時
講師：箭上文化財修復 代表 田川新一朗氏</p> | <p>中国古代文化の動物を知る <講演会>
定員：40名</p> <p>テーマ：「東アジア・神獣探訪」
日時：5月24日(日) 午後2時～3時30分
講師：二松学舎大学文学部教授 松浦史子氏</p> |
| <p><スライド解説>
定員：40名</p> <p>テーマ：「展示のみどころ」
日時：3月7日、4月4日、5月2日の各土曜日 午後1時～2時
講師：当館学芸員</p> | <p><ワークショップ>
先着15名(席数：5)</p> <p>テーマ：「羊の毛と糸のワークショップ」
日時：4月26日(日)、5月6日(祝・水)・10日(日) 午後1時30～3時30分
指導員：甲南大学学生</p> |
| <p><アート・トーク>
定員：40名</p> <p>テーマ：「美術のなかの動物」
日時：6月6日(土) 午後1時～2時30分
講師：当館学芸員</p> | <p>中東文化の動物を知る <講演会>
定員：40名</p> <p>テーマ：「中東絨毯の動物たち」
日時：6月7日(日) 午後2時～3時30分
講師：龍谷大学国際学部准教授 林則仁氏</p> |

●予定の変更や入場制限など、最新の情報は当館公式サイト及びお電話でご確認ください。 ●イベント参加には入館が必要です。
●イベント参加予約は行っていません。ご参加は先着順(定員数まで)となります。

Information インフォメーション



- 公共交通機関でお越しの場合**
- 阪神本線「御影駅」、JR神戸線「住吉駅」から市バス38系統 渦森台行き「白鶴美術館前」下車
 - 阪急神戸線「御影駅」から北東約1km(徒歩15分)
- お車でお越しの場合**
- 阪神高速道路3号神戸線 大阪方面「魚崎出口」から約1.5km
 - 阪神高速道路3号神戸線 姫路/明石方面「摩耶出口」から約6km
- ※無料駐車場あり(大型バスも可)

次回秋季展は
2026年9月26日(土)から開催予定です

公益財団法人
白鶴美術館
HAKUTSURU FINE ART MUSEUM

《お問い合わせ先》
〒658-0063 神戸市東灘区住吉山手6-1-1
TEL/FAX: 078-851-6001